



府中二中だより

令和6年度スローガン 「笑顔満開の学校」

令和6年度
8月29日発行
令和6年度8月号
府中第二中学校
校長 成清敏治
電話 361-9302

自分と違う価値観と付き合おう！

この夏は様々なことがありました。

宮崎県の日向灘沖で大きな地震が発生し、南海トラフ地震臨時情報が初めて出されました。近い将来に起こるとされる南海トラフ地震が身近に迫ったように感じました。太平洋岸では海水浴や花火大会が禁止になったり、ホテルのキャンセルが相次いだりと少々混乱した時期がありました。

猛暑も続きました。全国各地で体温並みの猛暑日が連日観測され、観測史上1番という記録が何度も更新されました。異常気象も頻発しました。梅雨がないとされた北海道でも大雨の被害があり、今まであり得なかった東北地方への台風上陸、さらに夕方近くになると雷鳴を伴ったゲリラ雷雨など、ここ数年で気象地図が大きく変化しました。

パリオリンピックでは、日本人選手が大活躍しました。メダルを獲得した選手は本当に素晴らしいですが、予選で負けた選手の中にも、いろんなドラマや努力があったと思われます。オリンピックに出場できただけでも凄いことです。これからパラリンピックもあります。ぜひ日本の選手だけではなく、全選手の競技に声援を送っていきましょう。

ただ、残念なことがありました。それは選手への心ない誹謗や中傷がSNS上にかかなりの数あがったことです。徹底的にバッシングする、人格攻撃をする等の報道がありました。それによって、選手が傷つき、意欲をなくし、競技人生でさえ危うくなるような事態に追い込まれたことです。今日はこの内容を少し深掘りしたいと思います。

スマホや携帯は、ないと生活ができないほど、重要な役割を果たす機器になりました。ある意味、容易に発信ができるようになり便利になった反面、社会問題も発生するようになりました。昨年までの新型コロナウイルス拡大時や今年の能登半島地震でもデマ情報が横行しました。最近ではAI技術を駆使した「ディープフェイク」が登場し、本物そっくりの画像や動画を作成できます。人を侮辱して自殺に追い込んだり、迷惑行為を自慢げにYouTubeにあげたりする行為もありました。

この事態を説明する原因として、「エコーチェンバー」と「フィルターバブル」が考えられています。自分と似たような価値観ばかりに接する、自分が好む情報ばかり目にする、それは偏った考え方に陥りやすいことを意味します。スマホの普及は後戻りできません。ですから、どうスマホの情報と付き合っていくかを真剣に考えていく必要があります。皆さんはまだ若い。柔軟な思考を身に付けるために、いろんな人と対話し、いろんな考え方



を自分の中に受け入れ、これからの社会を形成していく主体者になっていかなくてはなりません。それが多様性を認め、一人も取り残さない社会を構築します。人の努力を否定するような人とは戦ってほしい。2学期は大事な時期です。特に3年生は自分との勝負です。自分らしく頑張りぬく2学期になるよう期待しています。(8月29日 2学期始業式)

夏休み後半の行事

- 8月19日(月)、20日(火)と府中十小でサマースクールが実施され、本校からも生徒ボランティアが参加しました。
- 8月24日(土)に本校で同窓会・青少対合同行事である「草取り」が約170名集まり行われました。気持ちの良い2学期が迎えられそうです。
- 8月24日(土)、25日(日)に「第39回府中市青少年音楽祭」が明星学苑児玉九十記念講堂で行われました。本校からは和太鼓部、合唱部が参加しました。

生徒の活躍(敬称略)

【陸上競技部】 ◎東京都通信大会

男子共通走高跳 4位 上原孝仁 女子共通四種競技 6位 飯塚花乃

【水泳部】 ◎ブロック大会

戸塚珠貴 男子200m個人メドレー 3位 男子100m個人メドレー 4位
中村優心 男子200m自由形 2位 男子100mバタフライ 2位
岩瀬藍里 女子200m平泳ぎ 1位 女子100mバタフライ 1位
中鉢唯斗 男子200m背泳ぎ 3位
平田大輝 男子400m自由形 3位
古賀壺華 女子100m個人メドレー 6位 女子200m自由形 2位
笠原颯太 男子400m自由形 4位
鈴木初子 女子100m背泳ぎ 3位 女子200m背泳ぎ 2位
相田琴美 女子100m自由形 5位
高橋実紅 女子200m平泳ぎ 3位
原菜々美 女子50mバタフライ 3位 女子100m個人メドレー 5位

※紙面の都合で、水泳部多摩大会の入賞者は次号で紹介します

【卓球部】 ◎府中市公立大会(学年別団体戦)

1年の部女子 優勝(筒井花・五十嵐まこ・齋藤なつめ)
1年の部男子 準優勝(河野陽斗・足助琉唯・高橋勇翔)

保護者の皆さまへ

2学期がスタートしました。教育活動の充実さらに努めてまいります。授業改善や生徒の健全育成、生き方指導の充実、また地域や保護者との連携、生徒ボランティアやオトナの学びなど、本校の特色を出しながら充実した学校生活を送れるよう、「笑顔満開の学校づくり」に努めてまいります。

【不登校特例校のお知らせ】

- ☆中1、中2の児童生徒の体験入室を9月30日から10月11日までの2週間実施。
申込は直接保護者が教育委員会HPから申込フォームで申請(9月1日から)。
- ☆申込終了後、保護者から学校に連絡し、校長面談を実施する。面談後、学校から教育センターに入室申請をします。12月に入退室検討委員会を開催し、現在の不登校の状況や体験入室の状況を踏まえ、不登校支援について検討します。

【校内人事について】

☆K組産休代替教員の古川貴宏教諭ですが、御家庭の事情等により、8月31日付で退職いたします。後任については、決まり次第、連絡させていただきます。